

平成 29 年度 関西女子短期大学 卒業証書 学位記授与式 学長式辞（全文）

卒業生の皆さん、本日はご卒業、誠におめでとうございます。本学における2年間あるいは3年間の課程を、研鑽の甲斐あって無事終了され、本日ここにご卒業の良き日をお迎えになられたことを、心からお祝い申し上げます。同時に、ご家族の皆様におかれましても、これまで育てられた20年間の毎日を思い出されると、その喜びは言葉では表せないほどに大きく、すばらしいものと拝察いたします。誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆様におかれましては、年度末のお忙しい時期に、本日のこの式典にご臨席を賜りまして、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。



万葉集に、「春の苑（その） 紅（くれない）におう 桃の花 下照る道に いで立つお少女（おとめ）」という大伴家持の歌があります。春の庭には紅（くれない）色の桃の花が咲き誇っている。その木の下、春の光で照り輝く道に、若い乙女が今しも出で立とうとしている。という意味ですが、桃の花は桜の花より早く咲き、梅の花に続いて丁度この時期に咲き始めます。桃の花は夏になると果物の女王と言われる桃の実を実らせませす。桃の花の咲くこの時期に、春の光で照り輝く将来に向かって巣立とうとする貴女達を祝福するような、今日の卒業式にふさわしい歌ではないかと思い紹介いたしました。

「春の苑（その） 紅（くれない）におう 桃の花
下照る道に いで立つお少女（おとめ）」です。

さて、卒業生の皆さん、本学で過ごされた2年間あるいは3年間の学園生活は満足できるものであったでしょうか。Enjoy できたでしょうか。新しい制服に身を包んで、目を輝かせてこの講堂に集まれた入学式の日のことを覚えておられるでしょうか。あの日、皆さんは、専門職に就くという夢を実現するために必要な知識と技術だけでなく、それをさらに発展させる判断力や表現力をこの大学で身に付けたいと誓われました。その志を達成することができたでしょうか。専門職になるという夢はもう目の前にあります。しかし、人のためになる専門職員になれるかどうかはこれからの精進次第です。頑張ってくださいと思います。

昨年、天王寺のハルカス美術館で、葛飾北斎の大規模な展覧会が開かれました。『富嶽 36 景』で有名な江戸時代後期の浮世絵師です。この人、大変変わった人でして、生涯に 30 回、名前を変えています。また生涯に 93 回、引っ越しをしています。しかし絵師としては素晴らしい業績を残しており、1999 年に『ライフ』というアメリカの雑誌が、「この 1,000 年の間で最も重要な功績を残した人物 100 名」の中で、日本人としては只一人、この葛飾北斎の名前が挙げられているほど高く評価されています。

ただ自分ではまだ画家としては未完成であるといつも思っていたようで、75歳の時には「私は6歳より物を写し取る癖があり、50歳頃から数々の絵を描くようになった。しかし70歳までのものはとるに足りないものばかりで、73歳になってようやく生き物の骨格や草木の出生を悟るようになった。であるから、86歳になるとさらに進歩し、90歳になれば奥意を極め、100歳になると神業のごとくなり、110歳になればすべてが生きたもののように描くことができるだろうから、長寿を与え賜え」と願っています。

北斎の弟子の一人に露木為一(つゆき いいつ)という浮世絵師がいます。このいいつが、「自分は北斎先生の指導を受けて、長らく絵を描いているが、未だに自在には描けない」と北斎の娘のお栄(この人も浮世絵師で葛飾応為：かつしか おおい；北斎をおーい、おーいと呼ぶため名付けられた)に嘆いたところ、この娘、笑って「親父は子どもの頃から80歳になるまで毎日絵を描いているが、この間なんて、腕組みしたと思うと、猫一匹すら描けない」と嘆いていた。「何事も自分が及ばないと自暴自棄になる時が上達する時なんだ」とお栄が言ったところ、そばで北斎が「全くその通り」と賛同したという話が残っています。

私は、皆さんがこの大学に在籍中、専門職になるために、これまで経験をしたことがないほど勉学に励まれたことを知っています。あなた方も、専門職として働いている内に、「自分は何もできない」と仕事の壁にぶつかり、自暴自棄になる事が必ずあります。その時が、北斎の言う「上達する時」なのです。この壁に何度も突き当たり、それを1つずつ克服して、初めて多くの人から敬われる専門職になれるのです。短期大学士になり、専門職の資格を得たという現状に満足せず、常に精進していただきたいと思います。

ところで、この2年間あるいは3年間で共に過ごされた同級生に、ベストフレンドはできたでしょうか。卒業後の生活においては、職業に関連する多くの困難や障害に遭遇します。その時に、同じ職業に就いている親しい同級生の存在は、大変頼りになります。仕事の悩みを打ち明けるだけでその悩みが解消することもありますし、解決策を suggest してくれることもあります。同級生の友達を大切にして下さい。

経験の少ない貴女たちにとって、遭遇するすべての問題をうまく解決することができないこともあります。その時は、必ず大学で習った基本に戻って下さい。大学は専門職になるための基本しか教えません。しかしこの基本をおろそかにすると、問題点が不明確になり、問題が解決できなくなります。大学で習った時には分かったつもりでいても、専門職の現場に出ると、その基本が十分に理解できていなかったことに気付くことがあります。その時は、大学に戻って来て下さい。いつでも、貴女たちの立場でなってサポートします。この関西女子短期大学があなた方の母校であり、いつでも貴女たちを喜んで迎えることを覚えておいて下さい。我々教員は貴女たち卒業生に対して常に Welcome であることは知っておいて下さい。

最後になりましたが、今日のこの卒業式に出席された卒業生、卒業生の保護者の皆さん、来賓の皆さん、教員ならびに在学生の皆さんの健康とますますのご発展を祈念して、私の式辞といたします。

平成 30 年 3 月 19 日
関西女子短期大学 学長 大嶋 隆